

議事録

会合名	: 伊奈学園総合高等学校同窓会 2014年度 第2回 四役会
日付	: 2015年1月18日(日) 18時30分~21時
開催場所	: 浦和コミュニティセンター(第5集会室)
出席者 (敬称略)	: 四役→村松(4期)、畠山(6期)、石川(8期)、船崎(2期)、城口(4期)、加藤(10期) オブザーバー→渡辺(7期)、
作成日	: 2015年2月7日 (作成者: 渡辺 敏光・7期)
テーマ	: 伊奈学園総合高等学校同窓会 2014年度 第2回 理事会に向けて

伊奈学園総合高等学校同窓会会長の村松(4期)が進行役、そして議長として出席者の確認をした後、開会を宣し議事に入った。

※ なお、議事録作成者は書記の渡辺(7期)を指名。

議事

- ・議案第1号 2014年度事業報告(案)

1. 一般活動報告 (4期・村松)

2. 委員会活動報告

2-1. 同窓会会報誌編集委員会 (代行:4期・村松 ※13期・早坂 が欠席のため)

2-2. 会員名簿維持管理委員会 (代行:4期・村松 ※10期・浜野 が欠席のため) *別紙参照

2-3. ウェブサイト維持管理委員会 (10期・加藤) *別紙参照

2-4. ホームカミングパーティ実行委員会 (代行:4期・村松 ※7期・箱田 が欠席のため)

2-5. 先輩と夢を語ろう実行委員会 (8期・石川) *別紙参照

- ・ 開催後に催された懇親会の出席人数と収支を明確にした方が良い。
- ・ 出席者から1,000円の会費を徴収している。出席人数と収支については今後の資料に反映させる。

2-6. 年次活動推進委員会(代行:4期・村松 ※4期・田中 が欠席のため) *別紙参照

2-7. いなじん交流推進委員会 (6期・畠山) *別紙参照

- ・ 料理を提供することも演出の一つといふイベントだったため、会場費をかけて行った旨を記載した方が良い。

- ・ 複数飲食店のコラボであるが、店名を明記した方が良い。

2-8. 会則改正検討委員会 (4期・城口)

○議案第1号は全員賛成により承認された。(※有効投票者数は議長、及びオブザーバー参加者を除く5名(以下、同様))

- ・議案第2号 2015年度事業計画(案)

1. 一般活動計画 (4期・村松)

2-1. 会報誌編集委員会 (代行:4期・村松 ※13期・早坂 が欠席のため)

- ・ 同窓会の30周年を経てから会報誌の発行体制を考えたい。同窓会ウェブサイトへの掲載のみで良いか、紙での発行が良いか会員に希望を聞きたい。

- ・ 会報誌には個人情報も載っているので、ウェブサイトの閲覧を同窓会会員限定にしたほうが、いいのではないか。昨今の社会情勢などを鑑み、限定の方が望ましいと思う。

- ・ 現在も掲載しており、特に問題はないと思う。会報誌で紹介する会員は、取材時にウェブで公示することについて了解を得るようにしているし、むしろ宣伝になるという理由でOKをもらっている。

- ・ 全員に紙で配付することを止める場合、会報誌発行時に会員にメッセージを配信する等の手段が取れないか検討したい。ウェブに移行するにしても、移行期間に5年程度設ける必要があると考えている。

- ・ 冊子で受け取りたいという会員に対しては、印刷会社に委託して会員の受注にするという方法も考えられる。

2-2. 会員名簿維持管理委員会 (代行:4期・村松 ※10期・浜野 欠席のため)

2-3. ウェブサイト維持管理委員会（10期・加藤）

- 四役会と理事会のMLとも連携する必要があるので、いつから並行稼働して、現行サーバーをいつ廃止にするのか概略スケジュールを出してもらいたい。
- 概算では新ウェブサイトのデザインに2~3か月かかる。2015年度中には新サーバーに切り替えたい。

2-4. ホームカミングパーティ実行委員会(代行:4期・城口 ※7期・箱田 欠席のため)

- 委員長の7期・箱田が今期で退任することになり、19期・小村方を委員長に推薦している。
- 「未来へのハガキ」を確認しているが、2011年3月卒業、2013年3月卒業、2014年3月卒業の3か年分が手元にない。また2012年3月卒業分も数クラス分が足りない。来年度から送り始める準備をしたいが、中には他人宛に書いている人もいるため、どこまで確認すべきか判断に迷う。

2-5. 先輩と夢を語ろう実行委員会（8期・石川）

- 副委員長の石川が委員長を兼務していたが、委員の24期・濱野が委員長に立候補している。
- 今年の開催形式が好評だったので、次年度も継続していきたい。

2-6. 年次活動推進委員会（代行:4期・村松 ※4期・田中 欠席のため）

- 年次活動推進制度補助金利用要領が実態に即していないため、手続きの見直しを検討した方が良い。
- 会計の2期・船崎が、見直し方針を田中委員長に伝え、理事会に向けて変更案を作成する。
- 補助金制度に限らず、現存する内規を整理した方が良いことから、会則改正検討委員長の4期・城口が各種内規をリストアップする。

2-7. いなじん交流推進委員会

○議案第2号は全員賛成により承認された。

・議案第3号 2015年度予算計画（2期・船崎） *別紙参照

- 2014年9月の総会で承認された内容から変更がないため、次回の理事会で資料の添付は不要と思われる。

○議案第3号は全員賛成により承認された。

・議案第4号 伊奈学園同窓会創立30周年記念事業について（4期・村松） *別紙参照

- 独立した委員会にしないで、ホームカミングパーティ実行委員会の一部としてはどうか。
- 30周年記念事業として予算を取るのであれば、単独の委員会が望ましい。
- 当初は参加者から会費を徴収して、同窓会予算を使わない計画だったが、会費は無料にして全額同窓会費から貯うという計画で考えている。
- 参加者は卒業生に限定せず、広く一般に開放する。卒業生の友人だけでなく、会場を伊奈町の県民活動センターを候補にしているため、地域に住む一般の人も含めて誰でも参加可能としたい。
- 飲食ブースを設ける場合には、出店料を無料にする代わりに材料費等の費用も出さない形で運営することを考えている。
- どれくらいの会員が参加したのか把握するために、受付でプログラムを配付する際に、会員／会員外別に名簿に記入してもらったらどうか。

○議案第4号は全員賛成により承認された。

・議案第5号 部活動支援費用交付について（4期・村松） *別紙参照

- 今回の春高バレーの支援では、残念ながら1回戦で敗退してしまったため、交通費だけでは5万円に届かない。学校に結果と支出内訳を求める必要がある。
- 報告書をいただきたい旨を学校側に伝えたが、回答がない。生徒の保護者から預かったお金の一部を同窓会費として振り込んでいるため、学校は協議会という感覚で捉え、「何かあつたら同窓会がお金を出すのが当然」という感覚があるのかもしれない。

- ・ 同窓会費から支出する以上、会則の要件に則って支出し、会員に説明できなければならないため、根拠となるものを学校から出してもらう必要がある。
- ・ 実施報告は、できれば写真などを含めてウェブに掲載できる形式でいただきたい旨を学校側に要望する。

○議案第5号は、書式の変更について次回の理事会で提案することを全員賛成により承認された。

・2015年度役員人事(案) *別紙参照

- ・ 監事の交代ルールが会則に定められていないが、2014年度の監査報告に2015年度から就任する監事の承認をもらうことはできるのか。
- ・ 監事の就任は総会の承認が必要なため、2014年度の監査報告は1期・後藤の1名のみとなる。
- ・ 会則では監事の定数は2名と明記されているが、監査報告上、1名だけで問題ないか。
- ・ 引き継ぎを兼ねて監査報告書を見てもらうため、実務上は問題ない。今後、必要に応じて総会の承認を得る前に監査報告の実務を行わせる場合も生じる可能性もあるが、その場合、四役会において監事の交代ルールを見直し・検討をする。

○人事案は全員賛成により承認された。

・その他(正会員の慶弔について)

- ・ 1期の理事が亡くなられたが、同窓会として供花を贈りたいと思う。
- ・ 歴代校長のみで良いのではないか。同窓会内部の人間には不要だと思うし、親族や勤務先からの供花が並ぶ中に同窓会の供花が含まれることに違和感を覚える。
- ・ 同窓会に貢献した人に弔意を示すのであれば、歴代校長だけでなく歴代会長も対象として良いと思う。
- ・ 主旨に賛同する四役が有志で出せば良いのではないか。
- ・ 役員に対する慶弔を議論しているので、組織として対応方針を決める必要がある。有志で出すかどうかは個人の判断で行えば良い。
- ・ 理事まで対象とするのは範囲が広すぎるのではないか。今後、高齢化していくことを考えると慶弔費を予算上確保しなければならなくなる恐れがある。
- ・ 正会員の慶弔は、細則に「その他、必要のある場合には四役会の決定により支出を決める。」とあるので、とりあえず今回は、供花は大げさと思われるため弔電を送ることにしたい。今後、対象範囲および香典・供花・供物・弔電など、どこまで対応するのか、都度四役会で検討する。

上記内容の議案の審議を終了し、同窓会の更なる改善点や課題点を話し合った後、議長の村松が閉会を宣し、本会は終了した。

以上

